## JapanFlux 10周年記念集会 ポスター発表一覧

氏名	所属	タイトル
1 秋津朋子	筑波大学	JapanFluxサイトとの連携によるJAXAスーパーサイト500 -人工衛星GCOM-C陸域生態系プロダクトの地上検証-
2 安田幸生	森林総合研究所	冷温帯ブナ林におけるCO2吸収量の変動傾向
3 望月智貴	静岡県立大学食品栄養科学部環境生命科学科	カラマツ林土壌のテルペン類放出に関する研究
4 溝口康子	森林総合研究所北海道支所	①札幌近郊落葉広葉樹林におけるCO2吸収量15年の変化
5 溝口康子	森林総合研究所北海道支所	②富士山麓アカマツ林におけるCO2吸収量15年の変化
6 祖父江 侑紀	千葉大学	モンゴルにおける草本植生のフェノロジーとその要因
7 酒井佑槙	北海道大学農学研究院	太陽光誘起クロロフィル蛍光シミュレーションモデルの開発
8 高木 健太郎	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター	目指せ!東京オリンピック
9 井手玲子	国立環境研究所	定点カメラの画像解析による植生フェノロジーの年変動の検出
10 小林 元	信州大学農学部	富士北麓フラックスサイトにおけるバイオマス測定の概要
11 神宮字 葵	信州大学農学部	各種光学装置を用いた富士北麓フラックスサイトカラマツ林における葉面積指数の測定比較
12 楢本正明	静岡大学農学部	富士北麓カラマツ林における樹液流観測
13 宮内達也	国立環境研究所	観測衛星GOSATにより観測されたSIFとフラックスタワーで観測されたGPPの季節変化の比較
14 村山昌平	産業技術総合研究所	飛騨高山森林観測サイトにおける大気中CO2濃度及び炭素収支の長期観測
15 原薗芳信	大阪府立大学/アラスカ大学フェアバンクス校	凍土上クロトウヒ植生におけるメタンの吸収に関する考察
16 寺本宗正	国立環境研究所	富士北麓カラマツ林における林床部炭素フラックスに対する間伐の影響
17 町村 尚	大阪大学	大阪府における高分解能CO2排出インベントリの作成と大気濃度場のシミュレーション
18 松本有貴	大阪府立大学	陸域生態系の土壌におけるメタン生成ポテンシャルと微生物群集構造
19 野田 響	国立環境研究所	冷温帯落葉広葉樹林における林冠木の個葉の光学的特性の季節変化